

イベント開催の報告

日本ISMSユーザグループ／日本ネットワークセキュリティ協会 主催 情報セキュリティマネジメント・セミナー2022

27000 シリーズの最新動向とベストプラクティスの提案

標準化部会 日本ISMSユーザグループでは毎年12月にISMS（情報セキュリティマネジメントシステム）の標準化動向と「ISMSの実施・運用に関わるベストプラクティス」に関する研究成果をセミナーとして情報発信しています。今年度は12月16日（金）に開催しました。

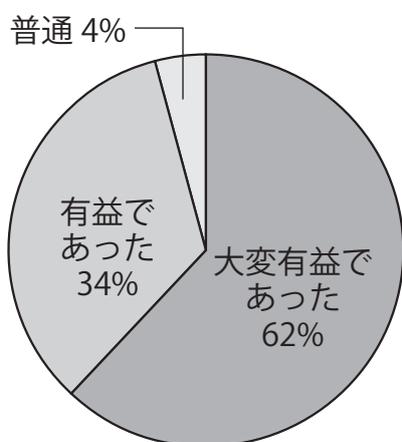
今年度のトピックとして標準化動向に大きな変化がありました。組織にとって有用な情報セキュリティ対策のベストプラクティスを提供するISO/IEC 27002の改定(2022年2月発行)および情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS)の要求事項を定めるISO/IEC 27001の改定(2022年10月発行)です。これらの規格改定についてISO/IEC JTC1/SC27 WG1のメンバーによる解説および今後ISMS認証組織としてどのように対応していくべきか方向性を模索するパネルディスカッションを実施することでISMSの認証組織が今後どのように取り組んでいけば良いか不安を抱えていることについて一つの方向性が示せたのではないかと思います。

また、ISMSの実施・運用に関わるベストプラクティスについて利用者の視点から整理・検討・共有を

進めているインプリメンテーション研究会では2つのテーマを発表しました。テーマ1は最新の環境の変化(クラウド利用の拡大やテレワークの定着など)を事例としてISMSの適用範囲や認証範囲について規格要求事項の観点から再確認をすると共にリスクの変化に対応するための考え方や方針について解説しました。また、テーマ2では各組織共通的な悩みである効率的なリスクアセスメント手法についてリスクアセスメント手順や改善事例などを共有しました。

セミナーの参加申込みは500名定員のところ676名で参加人数537名という大勢の方にご参加頂きました。参加頂きました9割上の方に有益であったという好評価を頂くと共に来年のセミナー参加や今後の活動に期待するメッセージを頂きました。

また、アンケート形式をGoogleアンケートに変更することで回答率のアップおよび多くの来年のセミナーに向けてのご意見、ご要望を頂くことが出来ました。今後の活動のインプット情報として有用に活用したいと思います。



日本ISMSユーザグループの活動紹介

